

予防接種で 防げる感染症

麻疹・風疹・おたふくかぜ・水痘は予防接種により感染を未然に防ぐことのできる代表的な感染症です。麻疹・風疹・水痘は国で決められている年齢の期間内であれば定期接種として無料で接種できますが、おたふくかぜは2020年現在、任意接種で有料となっています。いずれの感染症もかかると、小児から大人まで、重篤な後遺症が出ることもあり予防接種の恩恵は計り知れません。

特に妊婦さんが感染してしまうと、おなかの赤ちゃんが大変重症化しやすいため、接種歴不明の方や抗体の十分でない方は、妊娠をされる2ヶ月前までに予防接種をされることをお勧めします（※抗体の有無は医療機関での血液検査で確認できますが自費診療となります。また、この4種類の予防接種は全て生ワクチンと呼ばれるもので、インフルエンザの予防接種などの不活化ワクチンとは違い、接種後2ヶ月以上は避妊をしていただく必要があります。そして妊娠中は接種できません）。



ぜひ、これを機会にご自身やご家族の罹患歴、予防接種歴などを今一度ご確認していただければ幸いです。なお、予防接種や抗体検査等、

疑問に思われることは、お近くの小児科などにお問い合わせいただければ、詳しく教えていただけたと思います。

大野キッズ・ファミリークリニック
院長 田辺 誉広